

2025年度 第1四半期 決算

- I. 2025年度 第1四半期 決算概要
 - II. 2025年度 通期 業績予想
 - III. 中期経営計画の進捗
 - IV. 補足資料
-

シャープ株式会社
2025年8月8日

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
また、日頃は、当社の広報活動・IR活動にご協力頂き、
まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

連結業績概要

- ・ 第1四半期のブランド事業の売上高は、競争環境の激化や円高の影響などもあり減収となったが、営業利益は前年同期に比べ約1.5倍の増益を達成。

ディスプレイデバイスは、PC・タブレット向けや車載向けが伸長し増収となり、構造改革の効果もあって営業赤字は大幅に縮小。

全社トータルで減収となったものの、営業利益は前年同期の58億円の赤字から大幅に改善し、153億円の黒字に。
- ・ 経常利益・最終利益も、大きく改善しており、いずれも黒字化を達成。
- ・ 第1四半期の実績などを反映し、通期の業績予想を上方修正。

SHARP

1

- ・ 最初は、連結業績の概要になります。
- ・ 第1四半期のブランド事業は、競争環境の激化や円高の影響などもあり減収となりましたが、営業利益については、前年同期比で約1.5倍となる大幅な増益を達成することができました。

ディスプレイデバイスは、PC・タブレット向けや車載向けが伸長し増収となっており、構造改革の効果もあって営業赤字は大幅に縮小しています。

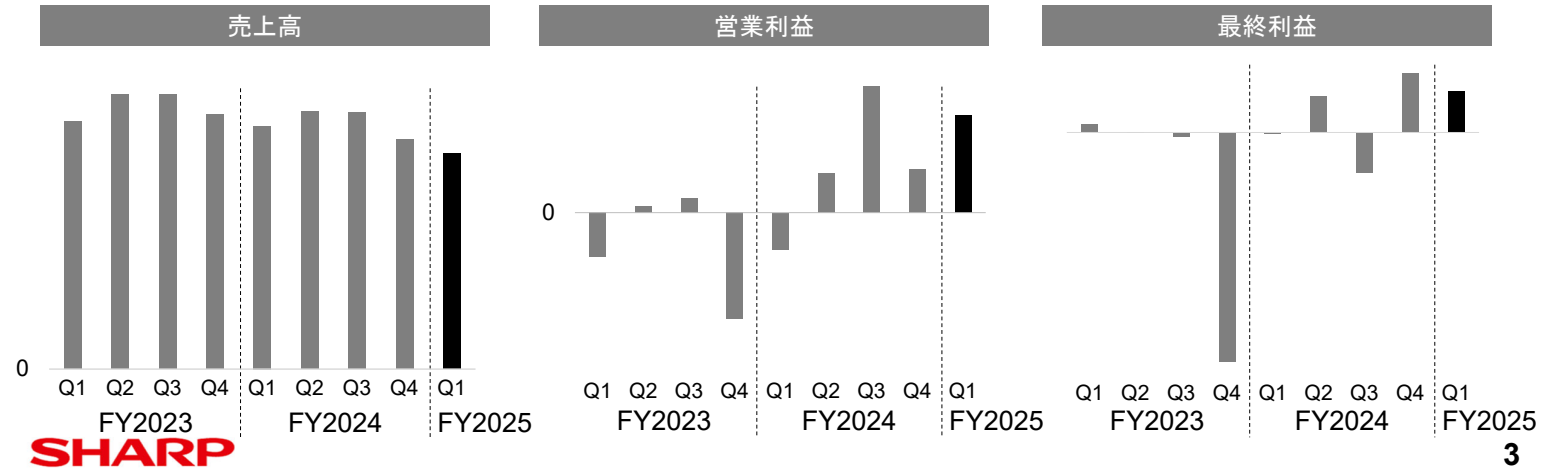
その結果、全社トータルで、売上高は減少したものの、営業利益は前年同期の58億円の赤字から大幅に改善し、153億円の黒字となりました。
- ・ 経常利益・最終利益も大きく改善しており、いずれも黒字化を達成することができました。
- ・ また、第1四半期の実績などを反映し、通期の業績予想を上方修正いたしました。

I . 2025年度 第1四半期 決算概要

- ・ まず、2025年度 第1四半期の実績について、ご説明させていただきます。

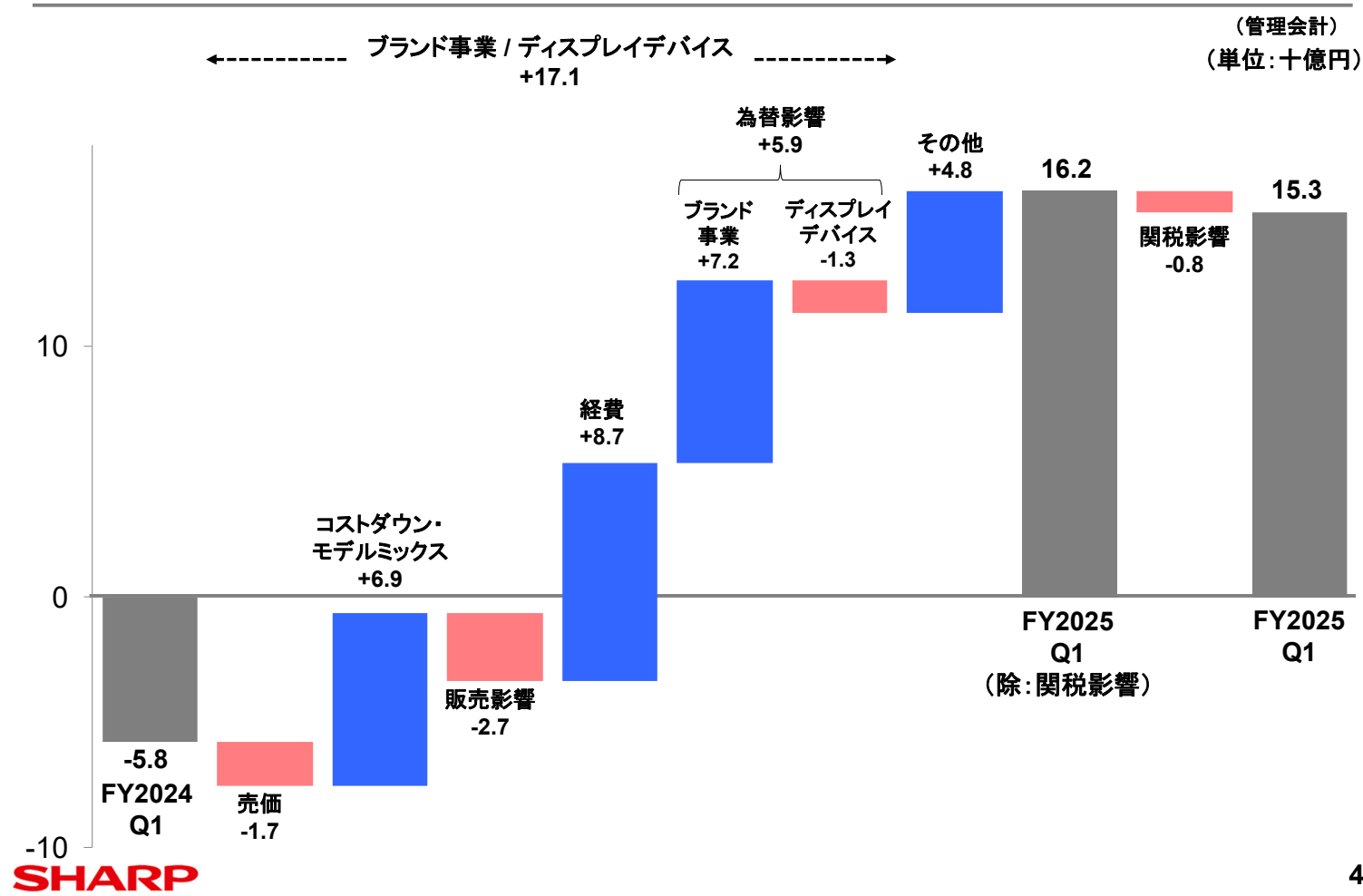
2025年度 第1四半期 連結業績概要

(単位:十億円)	FY2024				FY2025		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y	
						増減額	増減率
売上高	531.9	564.4	561.5	502.1	472.4	-59.5	-11.2%
営業利益	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	19.9 (3.5%)	6.9 (1.4%)	15.3 (3.2%)	+21.1	-
経常利益	-10.1 (-1.9%)	11.6 (2.1%)	-0.6 (-0.1%)	16.8 (3.4%)	18.5 (3.9%)	+28.6	-
最終利益	-1.2 (-0.2%)	24.2 (4.3%)	-26.5 (-4.7%)	39.6 (7.9%)	27.2 (5.8%)	+28.4	-
平均為替レート							
ドル円	155.89	149.32	152.44	152.61	144.60	-	-
ユーロ円	167.88	163.95	162.59	160.50	163.81	-	-



- 次のスライドをご覧ください。第1四半期の業績です。
- 売上高は、4,724億円となりました。
- 利益につきましては、前年同期の赤字からいずれも黒字化し、営業利益が 153億円、経常利益が 185億円、最終利益が 272億円となりました。

営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

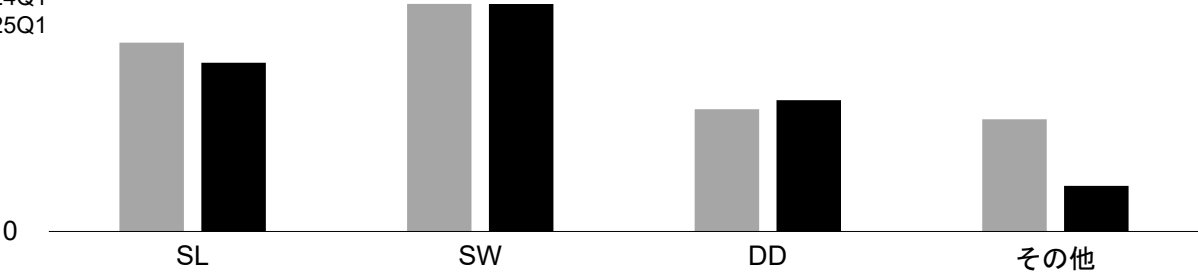


- 次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめているので、ご覧ください。

セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
スマートライフ	157.1	158.6	172.5	155.2	140.3	-10.6%
スマートワークプレイス	189.4	207.4	219.1	220.3	189.3	-0.0%
ブランド事業	346.5	366.0	391.7	375.6	329.7	-4.8%
ディスプレイデバイス	101.7	125.2	122.3	102.9	109.2	+7.4%
小計	448.2	491.2	514.0	478.6	439.0	-2.1%
その他	93.3	80.7	54.2	28.8	38.0	-59.3%
合計	541.6	572.0	568.2	507.4	477.0	-11.9%
調整額	-9.6	-7.5	-6.6	-5.2	-4.5	-
全社	531.9	564.4	561.5	502.1	472.4	-11.2%

左棒：FY2024Q1
右棒：FY2025Q1



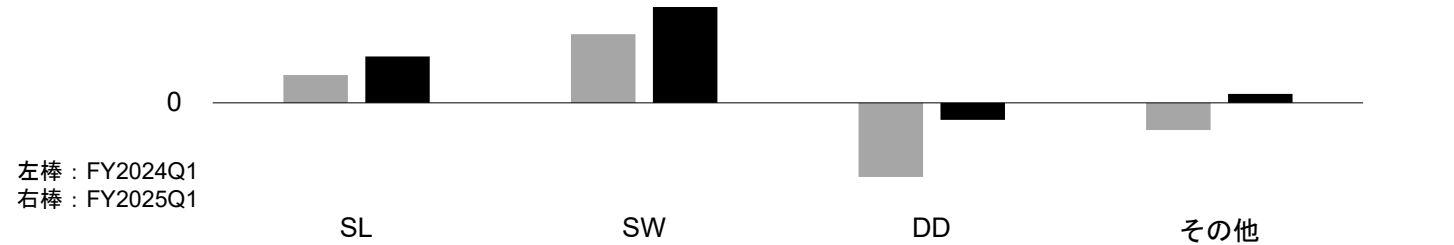
SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

- ・ 次は、セグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は、前年同期比 4.8%減の 3,297億円となっております。

セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
スマートライフ	4.1 (2.6%)	3.5 (2.3%)	7.3 (4.3%)	6.8 (4.4%)	6.8 (4.9%)	+66.3%
スマートワークプレイス	10.1 (5.4%)	12.3 (5.9%)	22.1 (10.1%)	15.0 (6.8%)	14.2 (7.5%)	+39.6%
ブランド事業	14.3 (4.1%)	15.8 (4.3%)	29.4 (7.5%)	21.9 (5.8%)	21.0 (6.4%)	+47.3%
ディスプレイデバイス	-10.9 (-10.8%)	-1.6 (-1.3%)	-3.4 (-2.8%)	-10.8 (-10.6%)	-2.5 (-2.3%)	-
小計	3.3 (0.7%)	14.2 (2.9%)	26.0 (5.1%)	11.0 (2.3%)	18.5 (4.2%)	+456.2%
その他	-4.0 (-4.3%)	-3.4 (-4.3%)	-1.5 (-2.9%)	1.2 (4.4%)	1.3 (3.5%)	-
合計	-0.6 (-0.1%)	10.7 (1.9%)	24.4 (4.3%)	12.3 (2.4%)	19.9 (4.2%)	-
調整額	-5.1	-4.4	-4.5	-5.3	-4.6	-
全社	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	19.9 (3.5%)	6.9 (1.4%)	15.3 (3.2%)	-



SHARP

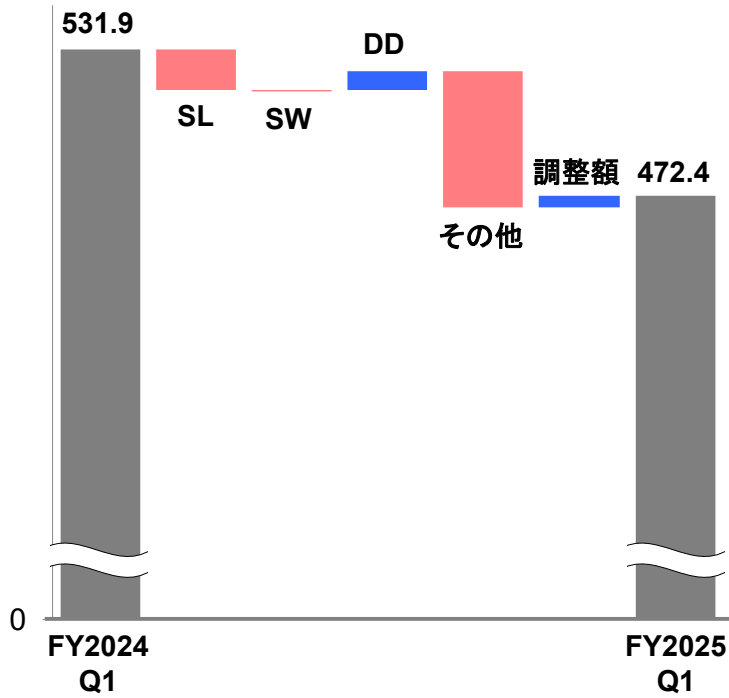
※()内の数字は営業利益率です。

- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- 全セグメントで、営業利益額・営業利益率とも改善しています。

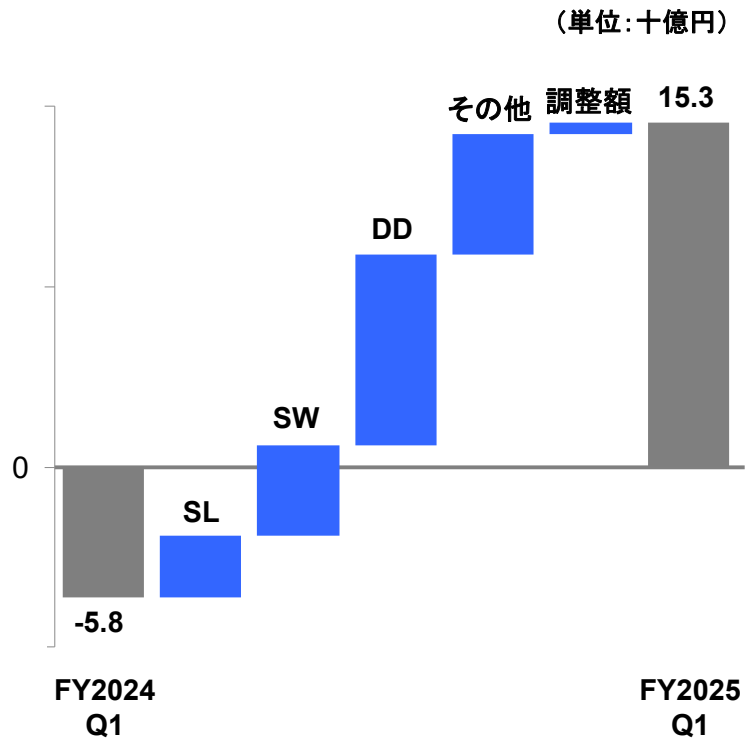
ブランド事業の営業利益は、前年同期比 47.3%増の 210億円、
営業利益率は 6.4%となっております。

セグメント別増減(対前年同期)

売上高



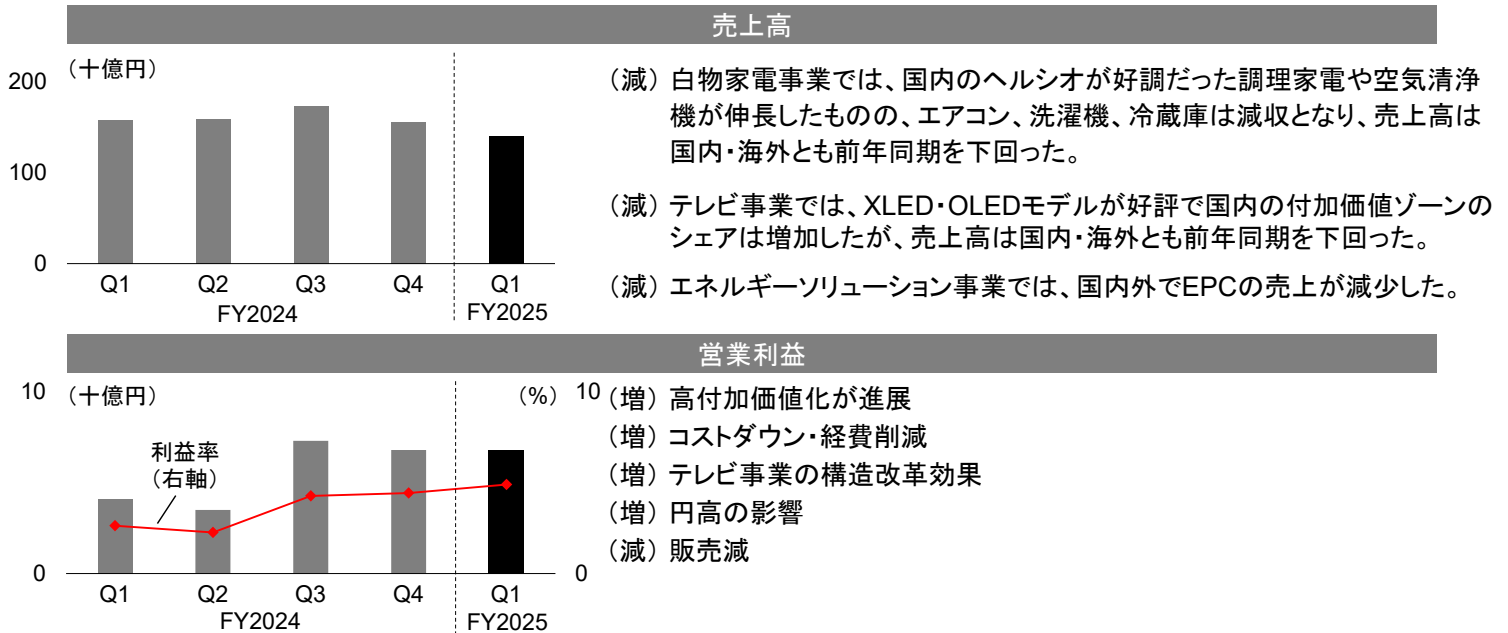
営業利益



- ・ 次のスライドに、売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめていますので、ご覧ください。

スマートライフ

(単位:十億円)	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	157.1	158.6	172.5	155.2	140.3	-10.6%
営業利益	4.1	3.5	7.3	6.8	6.8	+66.3%
(利益率)	(2.6%)	(2.3%)	(4.3%)	(4.4%)	(4.9%)	



SHARP

8

- ・ 次は、セグメントごとの概況になります。まずは、スマートライフです。
- ・ 売上高は、白物家電事業、テレビ事業、エネルギーソリューション事業とも減収となり、前年同期比 10.6%減の 1,403億円となりました。

白物家電事業は、国内・海外とも減収となりました。

国内では、ヘルシオなどが好調だった調理家電や空気清浄機が伸長しましたが、洗濯機、エアコン、冷蔵庫が前年同期に及びませんでした。

海外では、米州の調理家電が伸長した一方、ASEANのエアコンが冷夏の影響から減収となりました。

テレビ事業は、市況の影響もあり、国内や欧州などで減収となりました。

なお、国内では、XLED・OLEDモデルが好評で、付加価値ゾーンのシェアが増加しています。

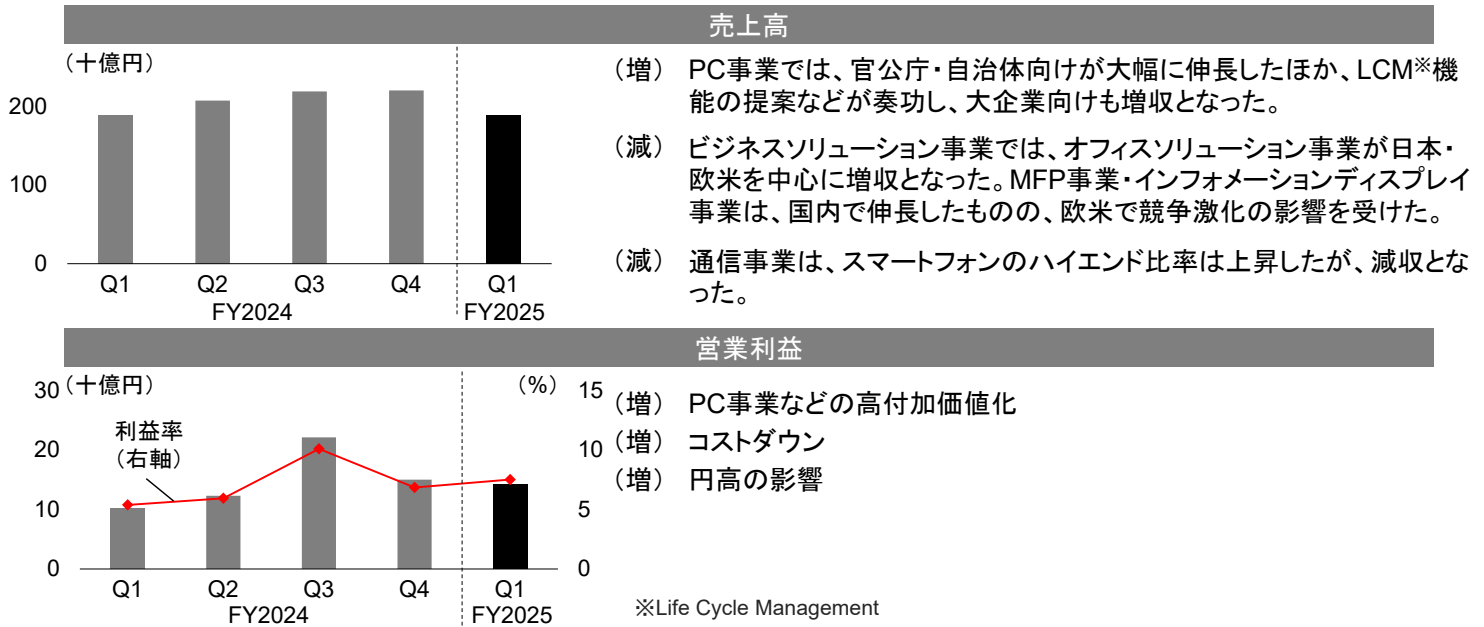
エネルギーソリューション事業は、EPCなどが減収となり、前年同期を下回りました。

- ・ 営業利益は 66.3%増の 68億円、営業利益率は 4.9%となりました。

高付加価値化やコストダウン、テレビ事業の構造改革効果などがあり、営業利益率も上昇しました。

スマートワークプレイス

(単位:十億円)	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	189.4	207.4	219.1	220.3	189.3	-0.0%
営業利益	10.1	12.3	22.1	15.0	14.2	+39.6%
(利益率)	(5.4%)	(5.9%)	(10.1%)	(6.8%)	(7.5%)	



SHARP

9

- ・ 次は、スマートワークプレイスです。
- ・ 売上高は、PC事業が増収、ビジネスソリューション事業と通信事業が減収となり、ほぼ前年同期並みの 1,893 億円となりました。

ビジネスソリューション事業は、国内が増収、海外が減収となりました。

国内では、オフィスソリューションが大幅な増収となったほか、

MFPとインフォメーションディスプレイも前年同期を上回りました。

海外では、オフィスソリューションが伸長したものの、競争環境の激化により

欧米のMFPやインフォメーションディスプレイが減収となりました。

PC事業では、官公庁・自治体向けが大幅に伸長しました。また、マネジメントサービスの提案などが奏功し、大企業向けも増収となりました。

通信事業は減収となりましたが、スマートフォンのハイエンド比率は上昇しました。

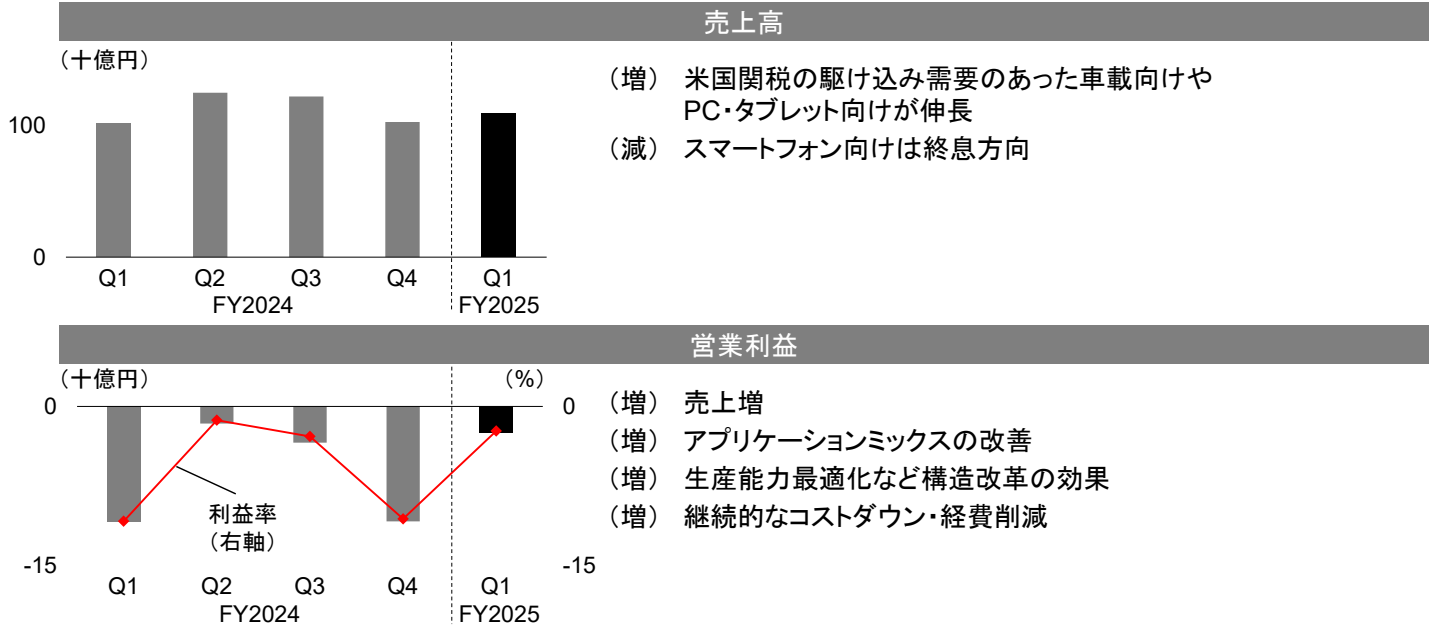
- ・ 営業利益は 39.6%増の 142 億円、営業利益率は 7.5%となっております。

PC事業などで高付加価値化が進んでいること、

各事業で経費削減に取り組んだことなどから、増益となりました。

ディスプレイデバイス

(単位:十億円)	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	101.7	125.2	122.3	102.9	109.2	+7.4%
営業利益	-10.9	-1.6	-3.4	-10.8	-2.5	-
(利益率)	(-10.8%)	(-1.3%)	(-2.8%)	(-10.6%)	(-2.3%)	



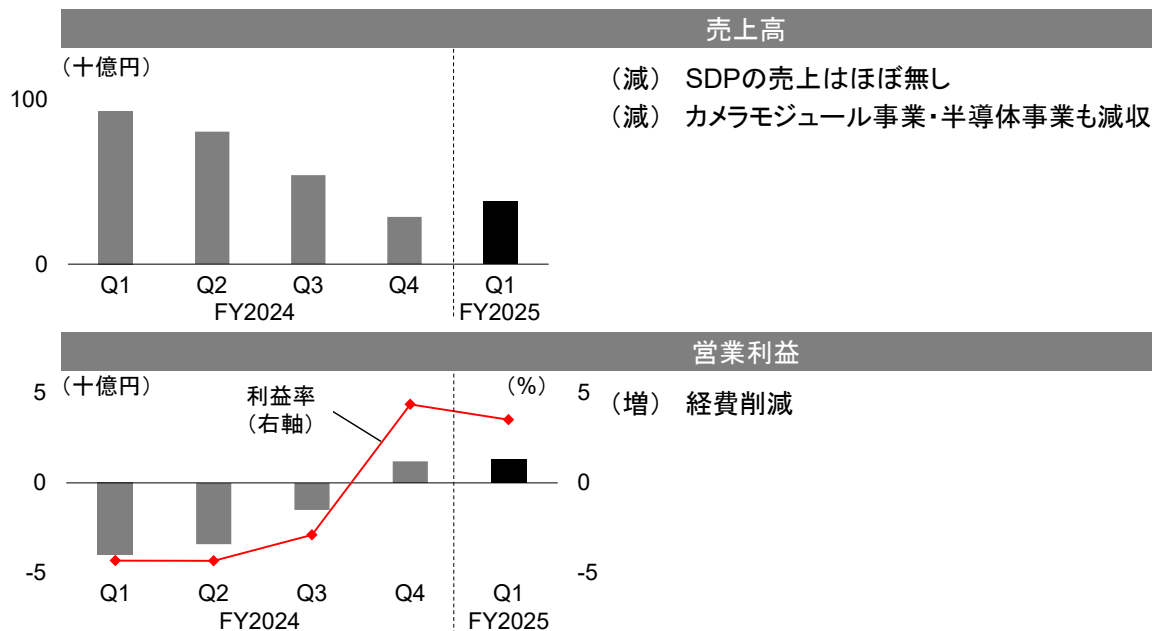
SHARP

10

- 次は、ディスプレイデバイスです。
2025年度より、SDPの業績はその他に区分しておりますので、ディスプレイデバイスは中小型ディスプレイのみの業績となります。
- 売上高は、前年同期比 7.4%増の 1,092億円となりました。
スマートフォン向けは終息方向である一方、米国関税の駆け込み需要のあった車載向けやPC・タブレット向けが伸長しました。
- 営業利益は、前年同期の109億円の赤字に対して、84億円改善し、25億円の赤字となりました。
PC・タブレット向けや車載向けの売上が増加し、アプリケーションミックスが改善したことに加え、生産能力の最適化などの構造改革を進めた効果もあり、赤字が大幅に縮小しました。

その他

(単位:十億円)	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	93.3	80.7	54.2	28.8	38.0	-59.3%
営業利益	-4.0	-3.4	-1.5	1.2	1.3	-
(利益率)	(-4.3%)	(-4.3%)	(-2.9%)	(4.4%)	(3.5%)	



SHARP

11

- 次は、その他になります。
上期中に譲渡予定のカメラモジュール事業と半導体事業、すでに大型パネルの生産を終息したSDPの業績を一括表示しています。
- 売上高は、前年同期比 59.3%減の 380億円となりました。
SDPの売上はほぼ無く、カメラモジュール事業・半導体事業も減収となっています。
- 営業利益については、経費削減が進んでいることから
前年同期の40億円の赤字に対して、53億円改善し、13億円の黒字となりました。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)	FY2024				FY2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y 増減額
営業利益	-5.8	6.2	19.9	6.9	15.3	+21.1
営業外損益	-4.3	+5.3	-20.5	+9.8	+3.2	+7.5
内:支払利息	-2.6	-2.1	-3.0	-2.4	-2.0	+0.6
為替差損益	-7.4	+4.3	-17.5	+7.9	+1.2	+8.6
投資関連収益・費用	+0.2	+0.8	+0.3	+0.5	-0.2	-0.4
持分法による投資損益	+2.3	+2.4	+1.4	+1.6	+2.1	-0.2
経常利益	-10.1	11.6	-0.6	16.8	18.5	+28.6
特別損益	+11.7	+18.2	-22.1	+28.1	+11.7	0.0
内:投資有価証券売却益	+10.1	+18.1	-	-	+0.0	-10.1
固定資産売却益	+0.0	+0.0	+1.8	+76.1	+11.6	+11.6
事業譲渡益	-	-	-	-	+0.8	+0.8
持分変動利益	+2.7	-	+1.8	-	-	-2.7
債務取崩益	+3.5	-	+0.8	-	-	-3.5
受取補償金	-	+3.8	-0.0	+2.8	-	-
事業構造改革費用	-3.4	+1.0	-8.8	-18.5	-	+3.4
減損損失	-1.2	-5.6	-17.2	-30.1	-0.5	+0.7
税前利益	1.6	29.8	-22.7	44.9	30.3	+28.7
法人税等 他	-2.8	-5.6	-3.7	-5.2	-3.0	-0.2
最終利益	-1.2	24.2	-26.5	39.6	27.2	+28.4

SHARP

12

- ・ 次は、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 第1四半期には、特別利益として、グリーンフロント堺に係る「固定資産売却益」などを計上しています。
- ・ なお、2024年度は多額の為替差損益を計上しましたが、主要因となっていた外貨建て前受金の返済が進んでいることから、今後、これまでのような大きな損益は発生しない見通しです。

連結貸借対照表推移

- ・長期借入金の多くが短期借入金に振り替わっているが、これは主に主要な借入契約であるシンジケートローン契約の借入期日が2026年4月までとなっていることによるもの。
当該契約については、主力行と借り換えの方向で協議を進めている。

(単位:十億円)

	FY2024		FY2025		FY2024		FY2025
	12月末	3月末	6月末		12月末	3月末	6月末
現預金	245.7	279.3	209.9	買掛金等	339.3	289.7	294.2
売掛金等	423.2	379.7	364.1	短期借入金	136.3	111.2	480.7
棚卸資産	267.8	242.0	261.7	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	86.5	78.6	86.1	その他	395.0	355.9	305.6
流動資産 計	1,023.4	979.8	921.9	流動負債 計	870.7	756.9	1,080.6
有形固定資産	256.4	201.8	191.8	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	38.2	36.5	35.0	長期借入金	417.1	406.4	10.9
投資その他資産	254.8	235.4	234.4	その他	124.1	122.6	105.3
固定資産 計	549.4	473.9	461.3	固定負債 計	541.2	529.0	116.3
資産合計	1,572.9	1,453.7	1,383.3	純資産	160.9	167.7	186.3
				負債純資産合計	1,572.9	1,453.7	1,383.3
期末日レート							
ドル円	158.17	149.53	144.82	自己資本比率	9.3%	10.5%	12.5%
ユーロ円	164.86	162.03	169.64	自己資本	145.6	153.3	173.0

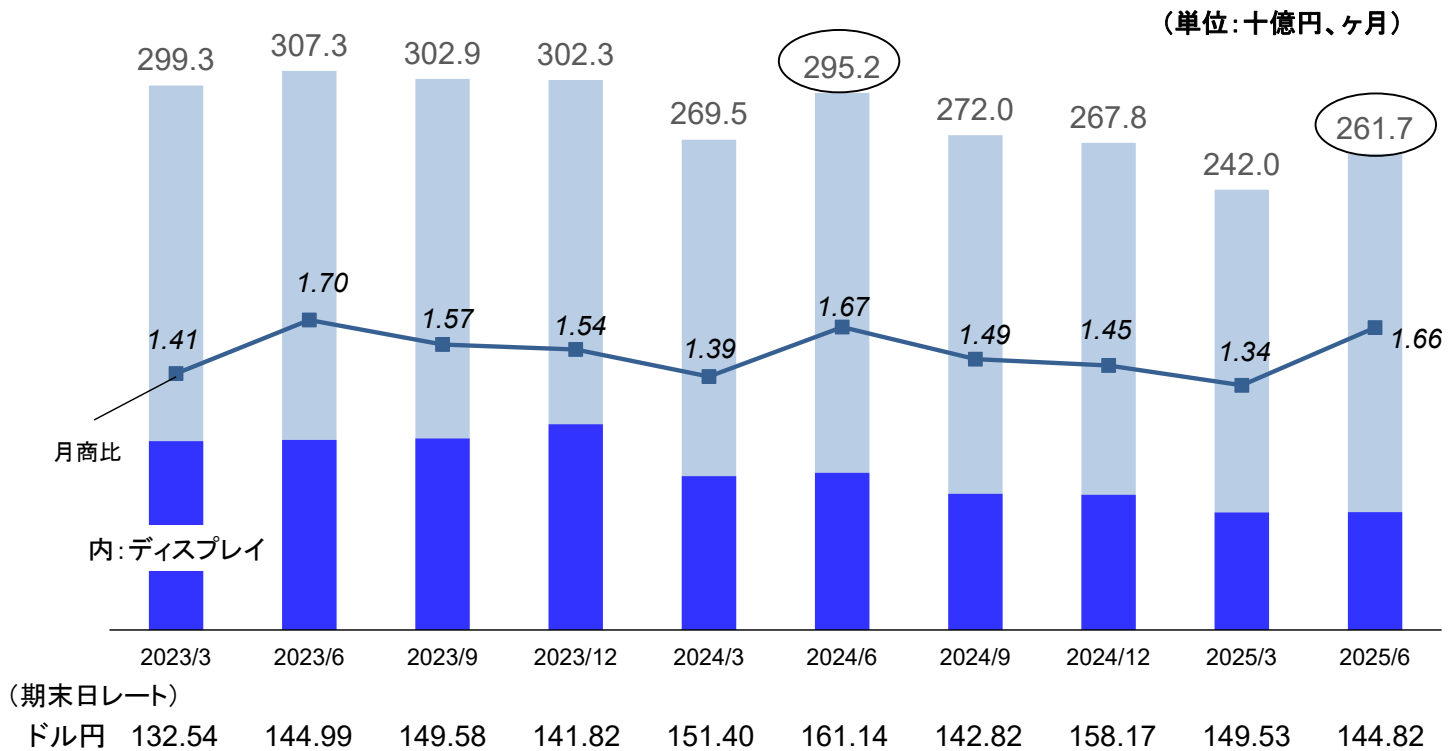
SHARP

13

- ・次は、貸借対照表の推移です。
- ・「現預金」は、2025年3月末の 2,793億円に対し、2,099億円に、
「純資産」は 1,677億円に対し、1,863億円に、
「自己資本比率」は、10.5%に対し、12.5%になりました。
- ・なお、長期借入金の多くが短期借入金に振り替わっておりますが、
これは主に主要な借入契約であるシンジケートローン契約の借入期日が
2026年4月までとなっていることによるものです。
当該契約については、主力行と借り換えの方向で協議を進めております。

棚卸資産の推移

- ・ 棚卸資産は、季節要因などもあり、3月末の2,420億円に対し2,617億円となる。
- ・ 前年同期末比では、金額・月商比とも減少。



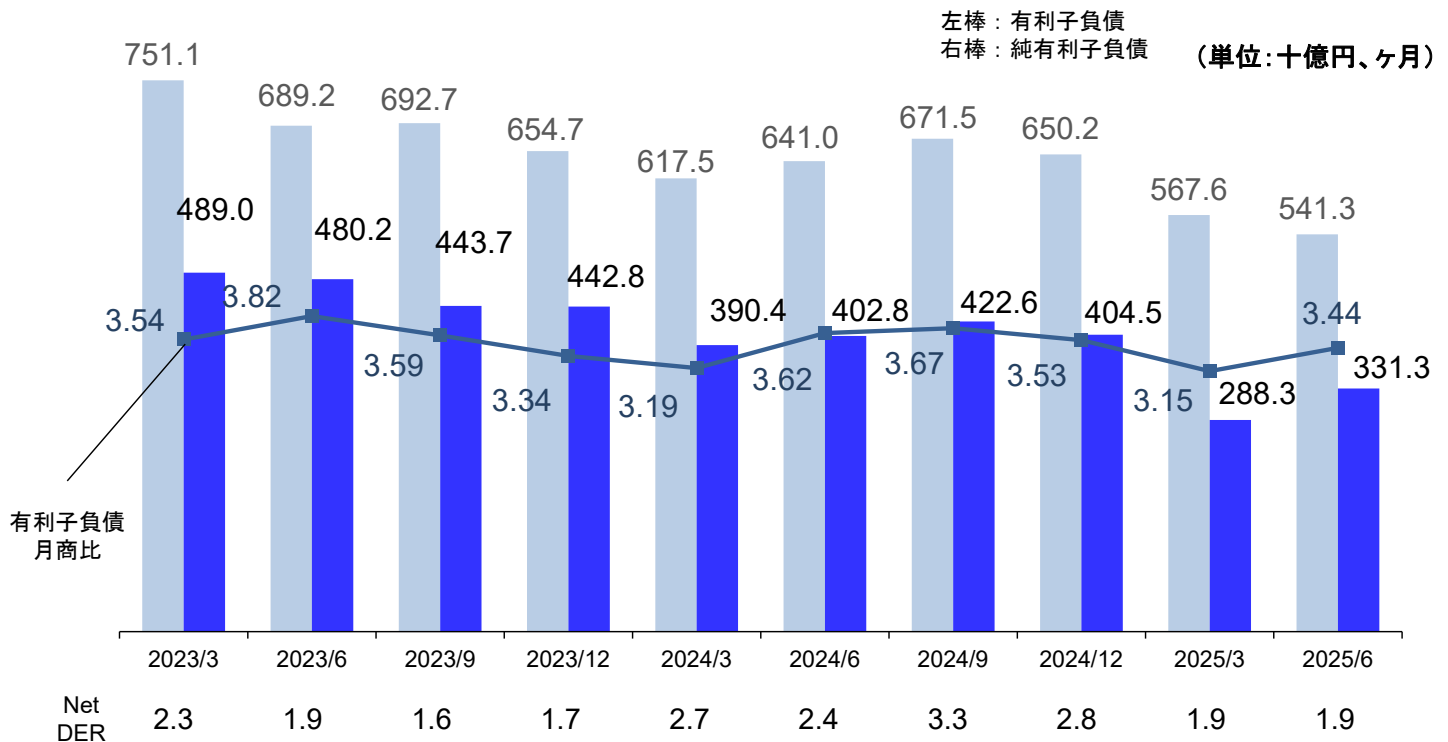
SHARP

14

- ・ 次は、棚卸資産の推移になります。
- ・ 棚卸資産は、3月末の2,420億円に対し、2,617億円となっております。
 季節要因などもあり、3月末比では増加しておりますが、
 前年同期末との比較では、金額・月商比とも減少しており、
 今後の販売計画に沿った適正水準となっております。
- ・ 引き続き、状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。

有利子負債の推移

- ・ 有利子負債は 5,676億円から 5,413億円に減少
- ・ 季節要因による在庫の増加やアセットライト化の進展に伴う前受金の返済などによるキャッシュアウトがあり、純有利子負債は 3月末の 2,883億円から 3,313億円に増加



SHARP

※純有利子負債：有利子負債－現預金

15

- ・ 次は、有利子負債の推移です。
- ・ 有利子負債は 5,676億円から 5,413億円に減少しています。
季節要因による在庫の増加やアセットライト化を進めるなかで行った前受金の返済などによるキャッシュアウトがあり、純有利子負債は 3月末の 2,883億円から 3,313億円に増加しました。

Ⅱ．2025年度 通期 業績予想

- ・ 次は、2025年度の通期 業績予想です。

2025年度 通期 業績予想

- ・ 先行き不透明な状況は続いているが、第1四半期のPC事業などの業績の上振れを売上高・営業利益に反映、期初の業績予想には織り込んでいなかった為替差益や持分法による投資利益なども経常利益・最終利益に織り込み、通期の業績予想を上方修正

(単位:十億円)

	FY2024	FY2025			
	通期	通期 前回予想	通期 今回予想	Y on Y	修正額
売上高	2,160.1	1,850.0	1,870.0	-13.4%	+20.0
営業利益 (利益率)	27.3 (1.3%)	20.0 (1.1%)	30.0 (1.6%)	+9.7%	+10.0
経常利益 (利益率)	17.6 (0.8%)	5.0 (0.3%)	27.0 (1.4%)	+52.9%	+22.0
最終利益 (利益率)	36.0 (1.7%)	10.0 (0.5%)	32.0 (1.7%)	-11.3%	+22.0
平均為替レート					
ドル円	152.57	145.00	145.00		
ユーロ円	163.73	160.00	160.00		

SHARP

17

- ・ 次のスライドをご覧ください。
- ・ 先行き不透明な状況は続いておりますが、第1四半期のPC事業などの業績の上振れを売上高・営業利益に反映するとともに、期初の業績予想には織り込んでいなかった為替差益や持分法による投資利益なども経常利益・最終利益に織り込み、通期の業績予想を上方修正いたしました。

セグメント別 業績予想

(単位:十億円)		FY2024	FY2025			
		通期	事業説明会時	通期今回予想	Y on Y	
					増減額	増減率
スマートライフ	売上高	643.5	650.0	635.0	-8.5	-1.3%
	営業利益	21.9	35.0	33.5	+11.6	+52.5%
	(利益率)	(3.4%)	(5.4%)	(5.3%)		
スマートワークプレイス	売上高	836.3	780.0	800.0	-36.3	-4.3%
	営業利益	59.6	33.0	42.0	-17.6	-29.7%
	(利益率)	(7.1%)	(4.2%)	(5.3%)		
ブランド事業	売上高	1,479.8	1,430.0	1,435.0	-44.8	-3.0%
	営業利益	81.5	68.0	75.5	-6.0	-7.5%
	(利益率)	(5.5%)	(4.8%)	(5.3%)		
ディスプレイデバイス	売上高	452.2	非開示	390.0	-62.2	-13.8%
	営業利益	-26.9		-22.0	+4.9	-
	(利益率)	(-6.0%)		(-5.6%)		
小計	売上高	1,932.1		1,825.0	-107.1	-5.5%
	営業利益	54.7		53.5	-1.2	-2.2%
	(利益率)	(2.8%)		(2.9%)		
その他	売上高	257.1		45.0	-212.1	-82.5%
	営業利益	-7.8		-3.0	+4.8	-
	(利益率)	(-3.0%)		(-6.7%)		
合計	売上高	2,189.3		1,870.0	-319.3	-14.6%
	営業利益	46.8		50.5	+3.7	+7.7%
	(利益率)	(2.1%)		(2.7%)		
調整額	売上高	-29.1		0.0	+29.1	-
	営業利益	-19.5		-20.5	-1.0	-
	(利益率)					
全社	売上高	2,160.1	1,850.0	1,870.0	-290.1	-13.4%
	営業利益	27.3	20.0	30.0	+2.7	+9.7%
	(利益率)	(1.3%)	(1.1%)	(1.6%)		

※事業説明会(6/17)資料にSLとSWの売上高と営業利益率を記載、営業利益額はそれらを基に算出
※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます

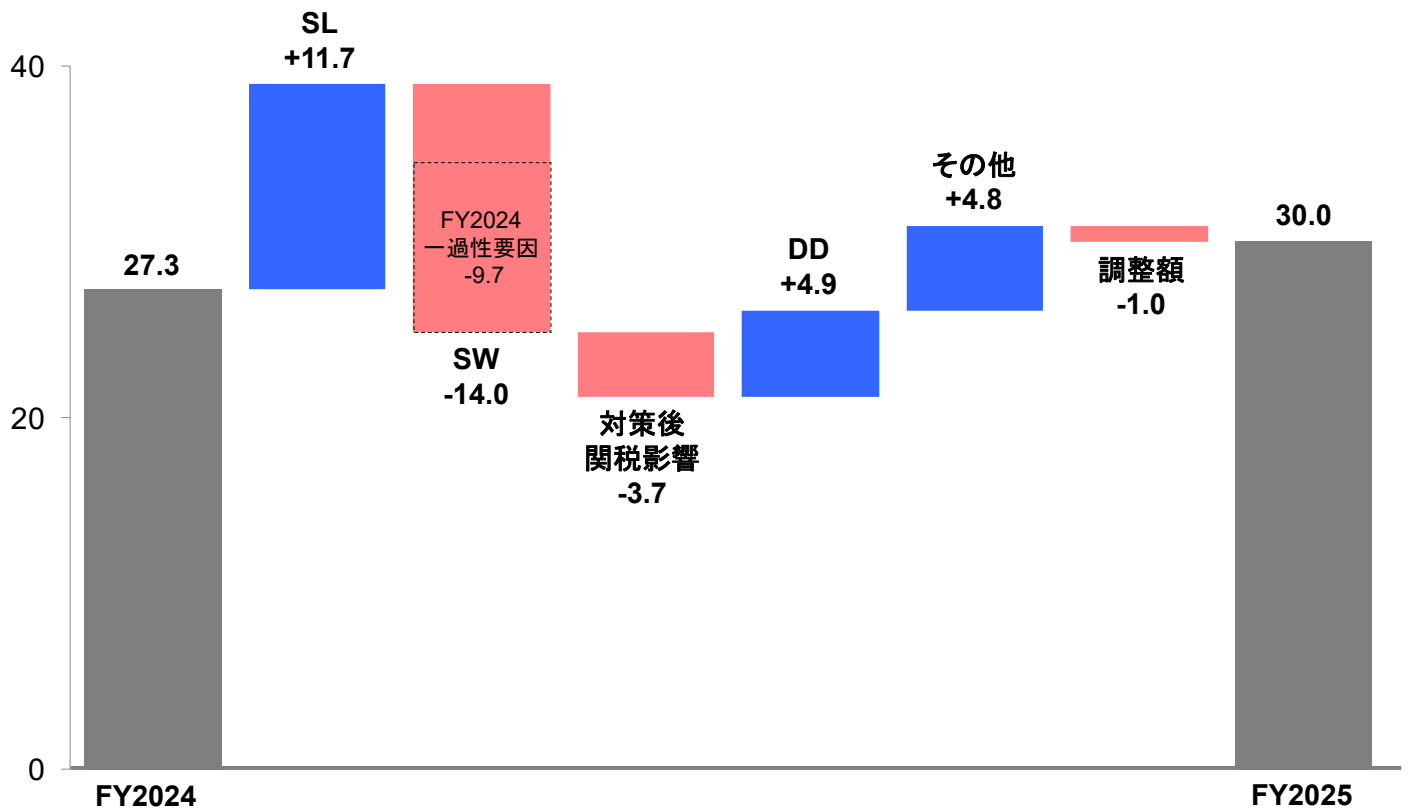
SHARP

18

- ・ 次のスライドはセグメント別の業績予想になります。
- ・ スマートライフの営業利益は、生成AI対応家電の拡販や海外での販売拡大、構造改革効果などにより、116億円の増益となる見込みです。
- ・ スマートワークプレイスは、176億円の減益を予想しております。
クロスセルの推進や新規事業の拡大に取り組むものの、
2024年度には特許による一過性収益があったこと、
Windows11切り替え特需の反動や米国の関税政策の影響などを見込んでいることなどによるものです。
- ・ ディ스플레이デバイスは、49億円の赤字幅縮小を見込んでおります。
白山工場における高付加価値商品の投入拡大や亀山第1工場における大型車載パネル比率の向上、構造改革効果などにより、赤字幅が縮小する見通しです。
- ・ なお、事業説明会時との比較では、ブランド事業の営業利益の通期予想を75億円引き上げております。具体的には、海外のエアコンや国内の洗濯機の足もとの事業環境などを反映し、スマートライフを15億円引き下げる一方、上期のPC需要が想定より底堅く進捗する見込みであることなどを考慮し、スマートワークプレイスを90億円引き上げております。

セグメント別 営業利益増減(対前年)

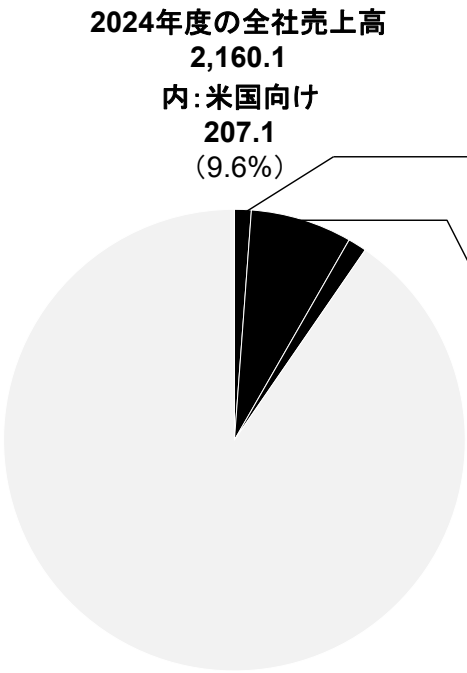
(単位:十億円)



- ・ 次のスライドは営業利益の増減をグラフ化したものになります。
- ・ 米国関税については、ブランド事業で影響を見込んでおりますが、売価への反映やコストダウンなどの対策を想定していることから、年間の利益影響額は37億円程度に抑制できると試算しています。
- ・ 営業利益は、2024年度の一過性要因や今年度の米国関税影響があるなか、27億円増加する見込みです。

米国関税による営業利益への影響

(単位:十億円)



セグメント	影響を受ける主な品目	2025年度の影響額	
スマートライフ	● ドロワーオープン ● その他調理家電	関税影響	-1.9
		対策	+1.8
		対策後	-0.1
スマートワークプレイス	● MFP ● ディスプレイ ● プロジェクター ● PC	関税影響	-11.2
		対策	+7.5
		対策後	-3.6
合計		関税影響	-13.4
		対策	+9.6
		対策後	-3.7

※合計には、その他を含む

・ 次のスライドは米国関税の影響の内訳になりますので、ご確認ください。

Ⅲ. 中期経営計画の進捗

- ・最後に、中期経営計画の進捗について、ご説明させていただきます。

中期経営計画 重点取り組みの推進状況

項目	重点取り組み	推進状況
1. SL	① AIoT事業の拡大 ② 美容・ヘルスケア事業の強化 ③ 海外事業の拡大	✓ 生成AI対応「ヘルシオ」を商品化。生成AI活用サービス“クックトーク”を提供開始 ✓ 米国で、関税影響で需要が減速する中、調理家電を中心に対前年+10%弱の売上成長
2. SW	① オフィス向け事業の強化 ② 新たなスマートビジネスの展開	✓ 顧客情報の共有化を通じた「クロスセル」の強化に加え、機器固有サービスの他製品への展開可能性を検討する「クロスマーケティング」の取り組みが進展 ✓ 衛星通信事業で欧州衛星通信事業者/各国政府関係/大手企業などから強い引き合い
3. DD	① パネル生産工場の選択と集中 ② 車載・モバイル・産業用途の強化	✓ 亀山第2工場の譲渡に向け、鴻海によるデュー・デリジェンス及び取引条件協議が進行中 ✓ 欧米完成車メーカーA社向け実装設備の立ち上げ開始(FY26量産予定)
4. 新産業	① EV ② AI DCソリューション ③ インダストリーDX・ロボティクス ④ 宇宙	✓ Japan Mobility Show(10月)に、EV『LDK+』の最新コンセプトモデルを出展予定 ✓ 拡大が期待されているAI DC市場への参入に向け、鴻海と連携し様々な可能性を検討中

✓ 9月より、ブランディング施策を本格展開

SHARP

22

- ・ 次のスライドをご覧ください。
- ・ 詳細は後程ご確認いただければと思いますが、スマートライフにおいて、AIoT事業の拡大に向け、生成AI対応「ヘルシオ」を商品化するとともに、生成AI活用サービス“クックトーク”の提供を開始するなど、各事業で重点取り組みに沿った具体的な施策が進捗しています。

引き続き、こうした取り組みを進め、2027年度の財務目標である営業利益800億円とブランド事業の営業利益率7%の達成と、2028年度以降の飛躍に向け、競争力の強化・財務基盤の改善を進めてまいります。

ご清聴ありがとうございます。

IV. 補足資料

連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2024			FY2025
	上期	下期	通期	通期予想
売上高	1,096.4	1,063.7	2,160.1	1,870.0
営業利益	0.4	26.8	27.3	30.0
(利益率)	(0.0%)	(2.5%)	(1.3%)	(1.6%)
経常利益	1.4	16.1	17.6	27.0
(利益率)	(0.1%)	(1.5%)	(0.8%)	(1.4%)
最終利益	22.9	13.1	36.0	32.0
(利益率)	(2.1%)	(1.2%)	(1.7%)	(1.7%)

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2024				FY2025
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	531.9	564.4	561.5	502.1	472.4
営業利益	-5.8	6.2	19.9	6.9	15.3
(利益率)	(-1.1%)	(1.1%)	(3.5%)	(1.4%)	(3.2%)
経常利益	-10.1	11.6	-0.6	16.8	18.5
(利益率)	(-1.9%)	(2.1%)	(-0.1%)	(3.4%)	(3.9%)
最終利益	-1.2	24.2	-26.5	39.6	27.2
(利益率)	(-0.2%)	(4.3%)	(-4.7%)	(7.9%)	(5.8%)

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2024			FY2025
	上期	下期	通期	通期予想
スマートライフ	315.7	327.8	643.5	635.0
スマートワークプレイス	396.8	439.5	836.3	800.0
ブランド事業	712.5	767.3	1,479.9	1,435.0
ディスプレイデバイス	226.9	225.2	452.2	390.0
小計	939.5	992.6	1,932.1	1,825.0
その他	174.1	83.0	257.1	45.0
合計	1,113.6	1,075.6	2,189.3	1,870.0
調整額	-17.2	-11.9	-29.1	0.0
全社	1,096.4	1,063.7	2,160.1	1,870.0

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-4

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2024			FY2025
	上期	下期	通期	通期予想
スマートライフ	7.7 (2.4%)	14.2 (4.3%)	21.9 (3.4%)	33.5 (5.3%)
スマートワークプレイス	22.4 (5.7%)	37.1 (8.5%)	59.6 (7.1%)	42.0 (5.3%)
ブランド事業	30.2 (4.2%)	51.4 (6.7%)	81.6 (5.5%)	75.5 (5.3%)
ディスプレイデバイス	-12.5 (-5.6%)	-14.3 (-6.4%)	-26.9 (-6.0%)	-22.0 (-5.6%)
小計	17.6 (1.9%)	37.1 (3.7%)	54.7 (2.8%)	53.5 (3.7%)
その他	-7.5 (-4.3%)	-0.3 (-0.4%)	-7.8 (-3.0%)	-3.0 (-6.7%)
合計	10.0 (0.9%)	36.7 (3.4%)	46.8 (2.1%)	50.5 (2.7%)
調整額	-9.6	-9.9	-19.5	-20.5
全社	0.4 (0.0%)	26.8 (2.5%)	27.3 (1.3%)	30.0 (1.6%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-5

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2024				FY2025
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
スマートライフ	157.1	158.6	172.5	155.2	140.3
スマートワークプレイス	189.4	207.4	219.1	220.3	189.3
ブランド事業	346.5	366.0	391.7	375.6	329.7
ディスプレイデバイス	101.7	125.2	122.3	102.9	109.2
小計	448.2	491.2	514.0	478.6	439.0
その他	93.3	80.7	54.2	28.8	38.0
合計	541.6	572.0	568.2	507.4	477.0
調整額	-9.6	-7.5	-6.6	-5.2	-4.5
全社	531.9	564.4	561.5	502.1	472.4

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-6

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2024				FY2025
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
スマートライフ	4.1 (2.6%)	3.5 (2.3%)	7.3 (4.3%)	6.8 (4.4%)	6.8 (4.9%)
スマートワークプレイス	10.1 (5.4%)	12.3 (5.9%)	22.1 (10.1%)	15.0 (6.8%)	14.2 (7.5%)
ブランド事業	14.3 (4.1%)	15.8 (4.3%)	29.4 (7.5%)	21.9 (5.8%)	21.0 (6.4%)
ディスプレイデバイス	-10.9 (-10.8%)	-1.6 (-1.3%)	-3.4 (-2.8%)	-10.8 (-10.6%)	-2.5 (-2.3%)
小計	3.3 (0.7%)	14.2 (2.9%)	26.0 (5.1%)	11.0 (2.3%)	18.5 (4.2%)
その他	-4.0 (-4.3%)	-3.4 (-4.3%)	-1.5 (-2.9%)	1.2 (4.4%)	1.3 (3.5%)
合計	-0.6 (-0.1%)	10.7 (1.9%)	24.4 (4.3%)	12.3 (2.4%)	19.9 (4.2%)
調整額	-5.1	-4.4	-4.5	-5.3	-4.6
全社	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	19.9 (3.5%)	6.9 (1.4%)	15.3 (3.2%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-7

設備投資・減価償却費等

				(単位:十億円)
	FY2024			FY2025
	上期	下期	通期	通期予想
設備投資	14.4	15.5	29.9	40.0
内:ディスプレイ	6.1	3.8	10.0	12.5
減価償却費	21.8	19.4	41.3	35.0
研究開発費	39.1	37.1	76.3	80.0
平均為替レート				(単位:円)
	FY2024			FY2025
	上期	下期	通期	通期予想
米ドル	152.61	152.52	152.57	145.00
ユーロ	165.91	161.55	163.73	160.00

四半期 設備投資・減価償却費等

					(単位:十億円)
	FY2024				FY2025
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
設備投資	6.2	8.1	5.3	10.1	5.1
内:ディスプレイ	2.5	3.5	1.5	2.3	1.2
減価償却費	11.0	10.8	10.7	8.7	7.5
研究開発費	17.2	21.9	18.2	18.9	17.0
平均為替レート					(単位:円)
	FY2024				FY2025
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
米ドル	155.89	149.32	152.44	152.61	144.60
ユーロ	167.88	163.95	162.59	160.50	163.81

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)・・・

親会社株主に帰属する当期純利益(損失)など

※開示セグメント及び略号

スマートライフ(SL)、スマートワークプレイス(SW)、ディスプレイデバイス(DD)

SHARP

SHARP

